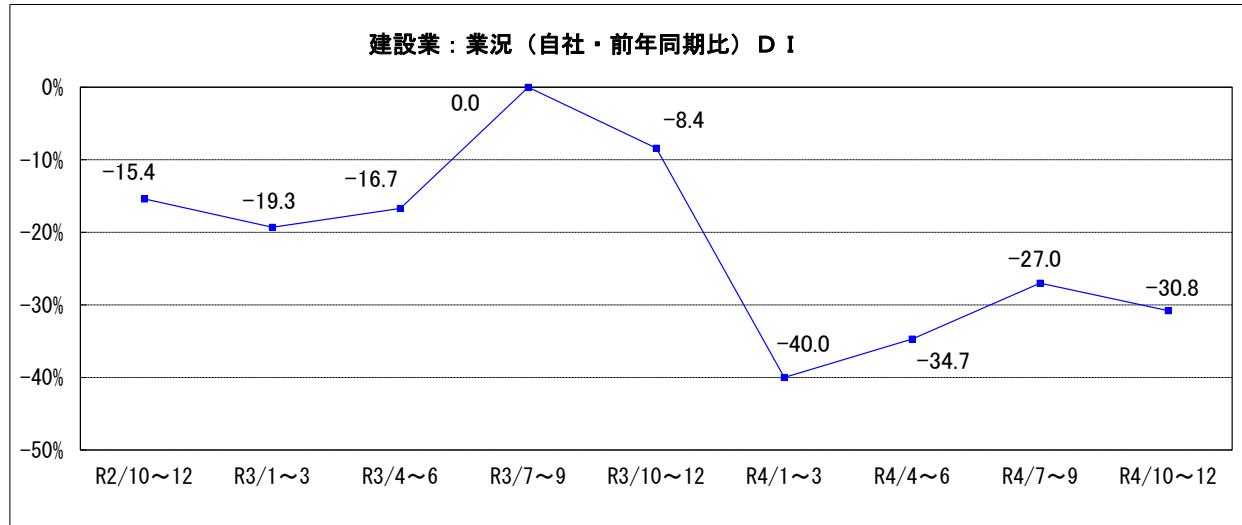


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

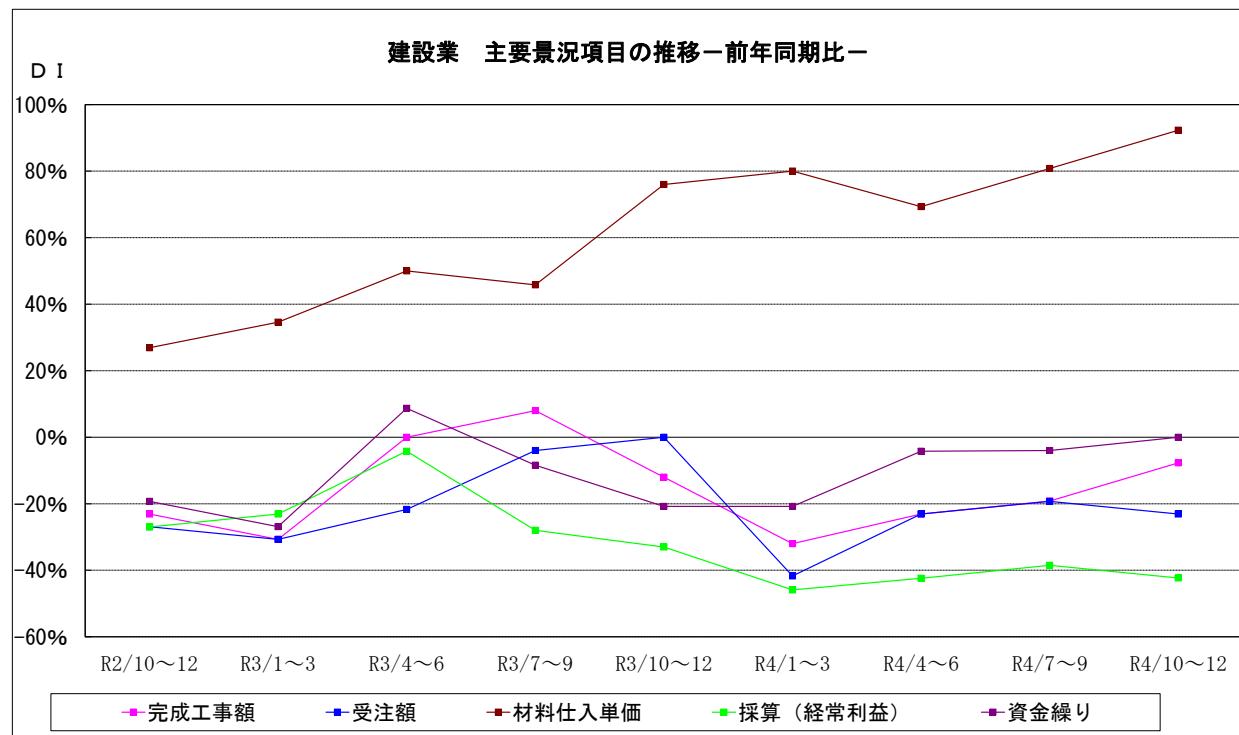
今期の業況DI値は-30.8。前期の-27.0から-3.8ポイント低下した。

来期の見通しは-19.3の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

	前々期 (R4年4月～6月)	前期(A) (R4年7月～9月)	今期(B) (R4年10月～12月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-23.1	-19.2	-7.7	11.5	-11.6
受注額	-23.1	-19.3	-23.1	-3.8	-26.9
材料仕入単価	69.3	80.8	92.3	11.5	69.2
採算（経常利益）	-42.4	-38.5	-42.3	-3.8	-26.9
資金繰り	-4.2	-4.0	0.0	4.0	-8.0

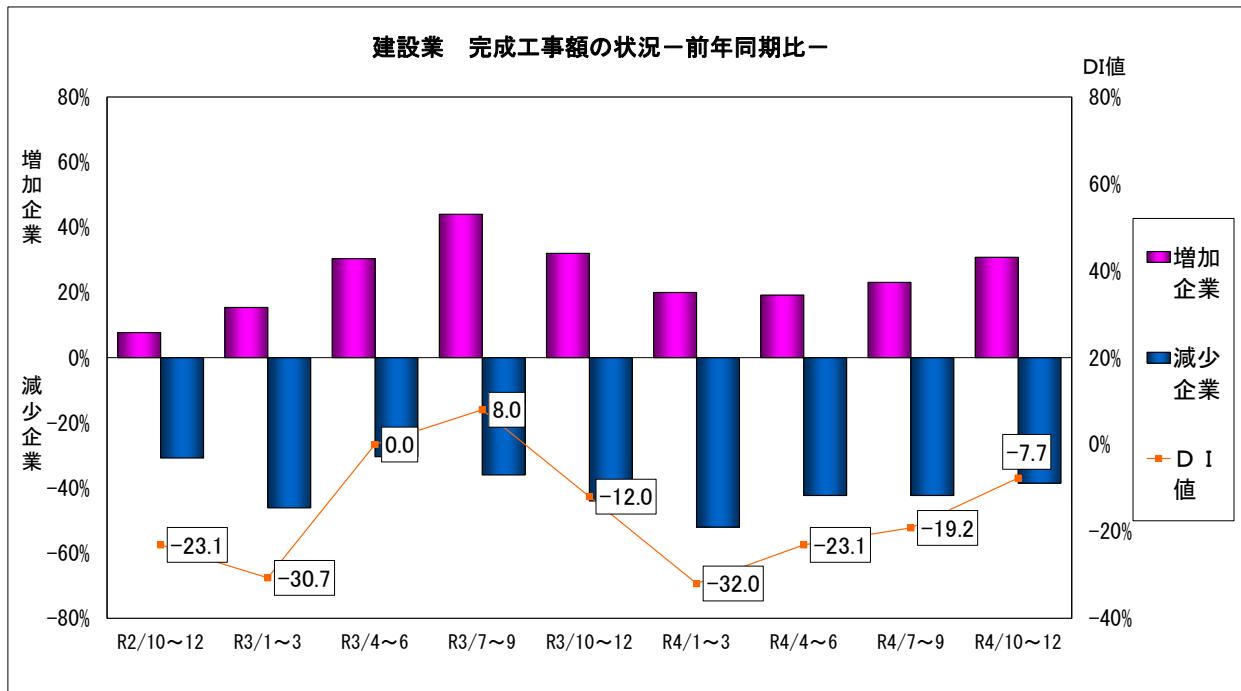


(2) 主要項目の概況

①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-7.7。前期-19.2から11.5ポイント上昇した。

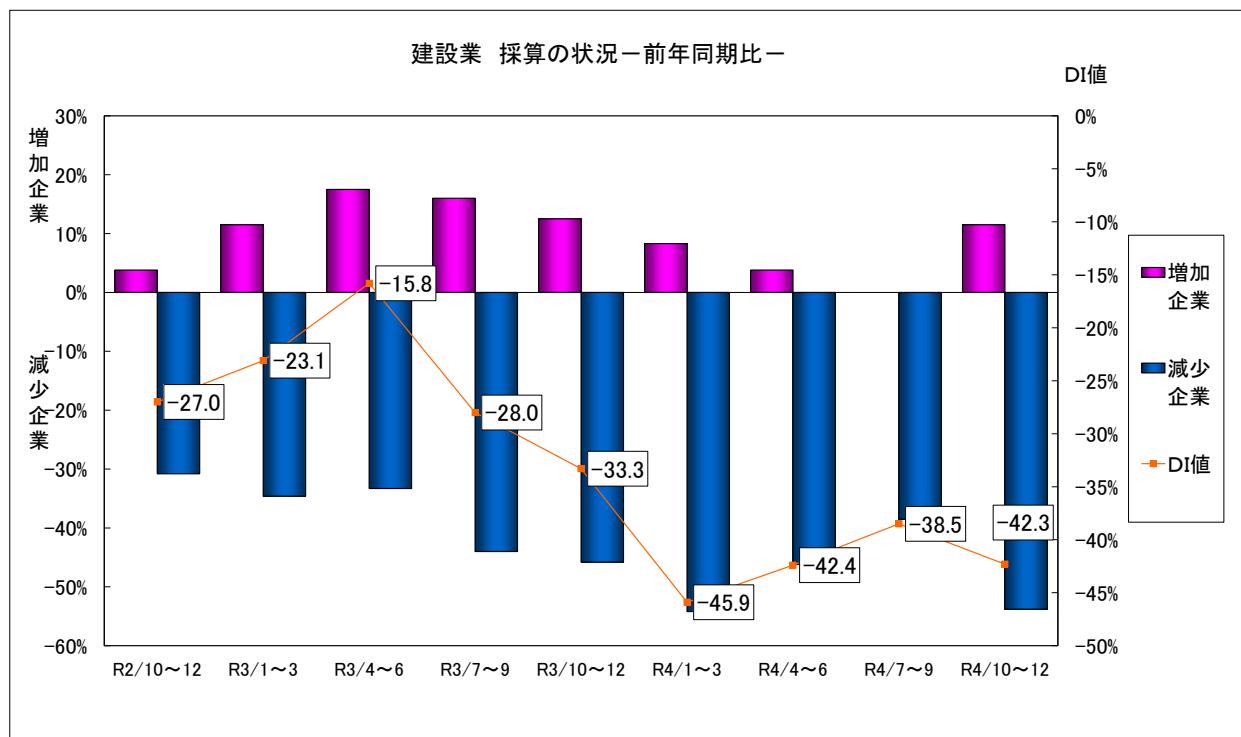
来季の見通しは-11.6の予想である。



②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-42.3。前期の-38.5から-3.8ポイント低下した。

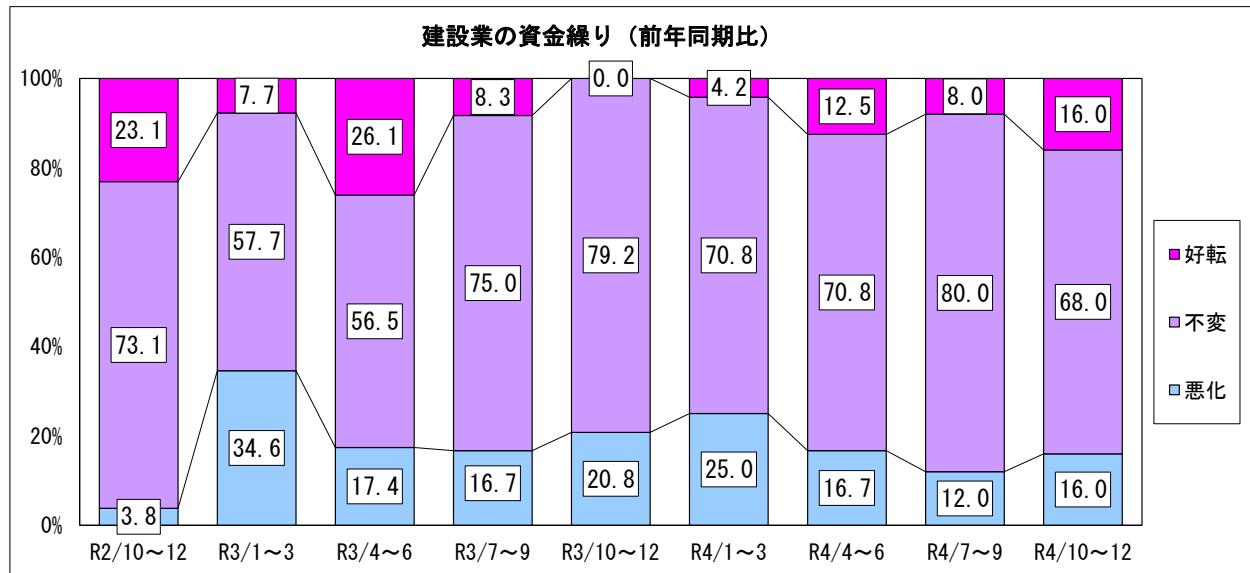
来季の見通しは-26.9の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は0.0。前期の-4.0から4ポイント上昇した。

来季の見通しは-8.0の予想である。



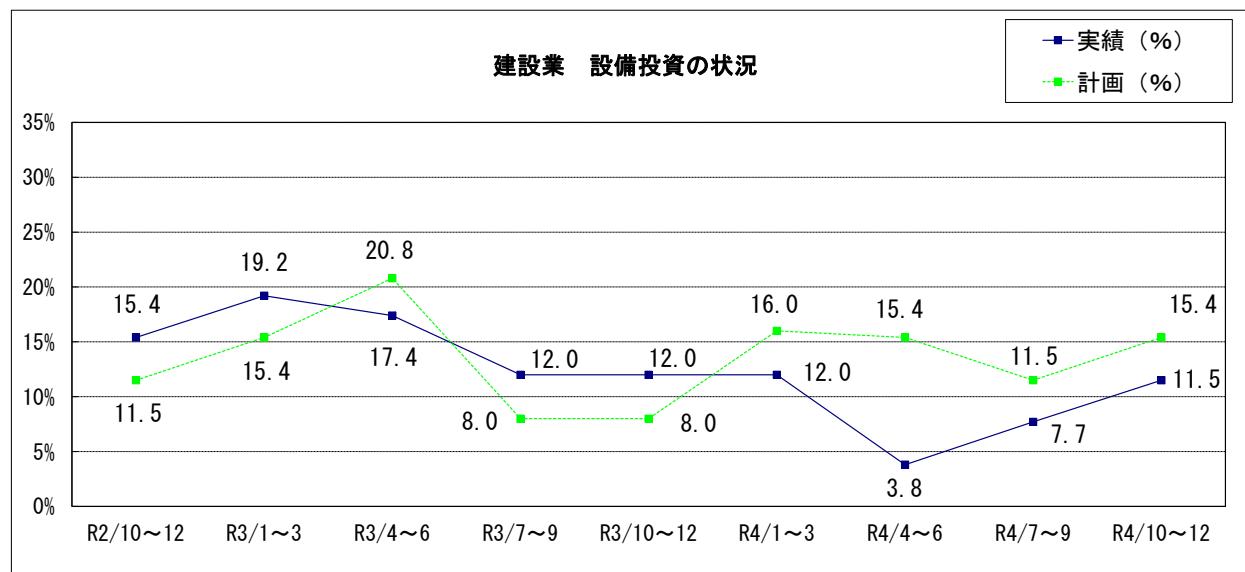
④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容									なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他		
前期実施（実数）	2	0	0	0	1	1	0	0	1	24	
(%)	7.7	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	92.3	
今期実施（実数）	3	0	0	0	3	0	0	0	0	23	
(%)	11.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5	
来期計画（実数）	4	0	0	1	4	0	0	0	0	22	
(%)	15.4	0.0	0.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6	

今期設備投資を実施した企業は3社(11.5%)前期(令和4年7月～9月)の実施企業2社(7.7%)

来期は4社(15.4%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期75.0%→今期72.0%)
- ・「請負単価の低下、上昇難」 (前期12.5%→今期40.0%)
- ・「材料の入手難」 (前期20.8%→今期28.0%) となっている。

